

## 2023 年度八戸市 U-12 部会総会 審判部

- 1) ライセンスの登録、更新について
- 2) 練習会について
- 3) 帯同審判について
- 4) ユニフォーム・身につける物について
- 5) 2023 年ルール変更について
- 6) 審判部からのお願い

### 1) ライセンスの登録、更新について

今年度は C 級・D 級・E 級の更新年となっています。

TeamJBA から e ラーニングの受講を申し込み忘れずにおこなってください。

C 級・D 級は中学校以上の更新講習対象の大会にエントリーをして、実技講習の受講も忘れずに受けてください。

E 級の方は実技講習はありません。

※昇格希望者は、中学校のゲームを積極的に吹きに行くようにしてください。

希望者は兼平までご連絡ください。

### 2) 練習会について

八戸市 U-12 部会審判部主催の練習会を今年も開催予定です。

E 級を取得した方で試合経験のない方を対象にした初心者練習会

実践の試合を吹いて、ミーティングを行う練習会

など、企画致しますので、各チームの帯同審判員の方の力量アップの為に積極的に参加する様に、お伝えください。

### 3) 帯同審判について

帯同審判の方の役割として、チームにルールの指導や T O の補助などがあります。

外部に依頼して、大会の時のみ来ていただいているチームもあると思いますが

チーム関係者にルールについて詳しい方が居たほうが子供たちの育成や指導について

も良いと思いますので、各コーチの方々もライセンスの取得を積極的に行って

頂きたいと思っております。

ルールブック・オフィシャルズマニュアルが 2023 年度更新されています。各チーム

一冊はご購入いただき、ルールの理解を深めていただければと思います。

また、帯同審判の方へ公式戦のエントリーをお願いするチームにおきましては、

審判員の方へのドリンク・昼食等の対応をお願い致します。

#### 4) ユニフォーム、身につける物について

- ・ユニフォームに関しては、濃淡各1枚以上ご準備頂きます様、よろしくお願いします。
- ・ソックスは、チーム内で同じ主となる色でデザインされたもので、シューズから見える状態でなければならない。
  - メーカーのロゴや、ワンポイントのデザインは可
  - グラデーションやあまりにもカラフルな物は着用不可
  - スニーカーソックス等の短い物は不可
- ・ユニフォームの下にTシャツを着ることはいかなるスタイルであっても認められない。
  - ユニフォームの下に着る物は身体に密着するデザインでなければならない。
  - 冬期期間のアンダーガーメントに関しては、着用可能な大会の際に案内いたします。
- ・シューズの色の組み合わせは自由であるが、左右は必ず同じものでなければならない。
- ・相手や自身が怪我する恐れが有るものは着用できない。
  - 金属製の髪留め、飾りのついた髪留め、手首の髪ゴム etc
  - ゴム製のヘッドバンド・ヘアバンドに関しては怪我防止の観点から八戸市 U-12 部会では着用を認めません。
- ・チーム内で色を揃える必要のあるもの
  - 腕、脚のコンプレッションスリーブ・ヘッドギア・リストバンド（繊維素材で幅10cm以下）ヘッドバンド（繊維素材で幅10cm以下）・サポーター類
  - 病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に着用する物は「装具」の為、サポーター類には該当しない
  - ※黒のコンプレッションで白のサポーターは不可→ユニフォームとは揃える必要はない。

#### 5) 2023 年度ルール変更について

- ・攻撃方向の変更  
変更前・・・前半は相手ベンチ前でオフェンス、後半は自ベンチ前でオフェンス  
変更後・・・前半は自ベンチ前でオフェンス、後半は相手ベンチ前でオフェンス  
→挨拶後、ジャンパーは自ベンチ前に向かってジャンプボールを行う

この変更に伴い、TO の得点表示の方法も従来のルールに従う方式に習います。  
自ベンチ側に得点表示を行います。前後半で表示を入れ替えることは行いません。  
また、今後対面の得点表示については鏡表示をしないこととします。  
ですので、操作器具に表示を行い、間違えの無い様に対応お願いします。

- ・ジャンプボール、オルタネイティングポゼッション  
ジャンプボールのあと、最初のライブのボールのチームコントロールを得られなかったチームが、最初のオルタネイティングポゼッションのスローインの権利を得る。
  - 白のジャンパーがジャンプボールでボールをタップそのままアウトオブバウンズとなった場合、青ボールのスローインで試合を開始し、白に次のポゼッションが与えられることになる。

- ・イリーガルシリンダー（審判のシグナル）

審判が手のひらを開いた状態で両腕を垂直に下げて上げる。

この動作をした場合はイリーガルシリンダーのファールとなります。

このファールは2021 インタープリテーション変更点に記載の【新ルール 33-1 シリンダーの概念】に該当するファールとなります。

オフenseのシリンダーを越えて不当な接触を起こした場合に適用されます。

相手のシリンダーに入っただけではファールになりませんのでご注意ください。

- ・スローインファール

4Q や各オーバータイムでゲームクロックに2:00 あるいはそれ以下が表示されている状態でスローインを行うプレイヤーの手からボールが離れる前に起きたディフェンスファールに関する変更です。

これまではアンスポーツマンライクファールが宣されていましたが、今回の変更によりパーソナルファールとして扱う事となり、その罰則として1本のフリースローがファールされたプレイヤーに与えられ、ゲームはファールが起きた場所に最も近い位置からそのファールされたチームのスローインで再開されることとなります。

これに伴いアンスポーツマンライクファールのクライテリア（判定基準項目）は5から4つに減ることになります。

## 6) 審判部からのお願い

- ・チーム内で子供たちを指導する際に、まずは審判にボールを返すことを徹底お願いします。その際も審判へ手渡しまではいりませんのでワンバウンドで軽く渡すようにご指導ください。
- ・タイムマネジメントの徹底をお願い致します。試合開始時やタイムアウト終了時のベンチから一度目のブザーで子供たちを出してください。
- ・タイムアウトに関しても、請求がギリギリにならないようにまた、TOにも審判にもわかりやすい様にお伝えください。
- ・審判の判定については抗議するのではなく審判とコミュニケーションを取るようお願い致します。
- ・4Qの交代は交代する選手が、自身でTOに交代と申請し、TOの横のスペースでしゃがんで待つようにしてください。また、審判が交代の合図の笛を鳴らしてから、コートに入るようにしてください。